

| | | | | |
|--|------------------------------|------|-------------------------|--|
| 講座 テーマ | 学校事故への対応 ～フィジカルアセスメントの展開～ | 担当者 | 吉岡 久美 (九州看護福祉大学・准教授) | |
| <p>講座の到達目標及びテーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の正常・異常の見極めができる。 ・異常時（急変時）のアセスメントを説明できる。 ・フィジカルアセスメントの実践が説明でき、対応できる。 | | | | |
| <p>講座の概要：</p> <p>学校における救急処置を行う際には、その状況からの判断が重要であり、対応する養護教諭の責任である。処置・対応の方法を判断するときに、フィジカルアセスメントが必要になってくる。そこで、アセスメント力について振り返り、正常・異常の見極めを再確認していく。さらに、緊急時のアセスメントについて理解を深める。</p> <p>知識の再確認ののち、実際の方法についてグループでの討議や実践などの演習を通してフィジカルアセスメント実践力を向上させる。</p> | | | | |
| 形 態 | 講義・演習 | | | |
| テキスト | 担当者にて資料を準備 | 試験方法 | 筆記試験 | |
| <p>評価：</p> <p>修了認定のための筆記試験を、講習の最後に 40 分程度で実施する。</p> | | | | |
| <p>講座受講希望者への事前連絡：</p> <p>特になし</p> | | | | |

| | | | | |
|--|----------------------------------|------|-----|------|
| 講座 テーマ | 教育現場における緊急対応 ～予防のための足関節テーピング～ | | 担当者 | 井手裕子 |
| <p>講座の到達目標及びテーマ：</p> <p><講義>学校管理下における災害（外傷ならびに障害）について理解する 体力・ケガの二極化について理解する 子供ロコモティブシンドロームについて理解する 発育発達期のスポーツについて理解する <実技>足関節のテーピングについて理解する</p> | | | | |
| <p>講座の概要：</p> <p>学校管理下における災害の現状と発生要因を把握し、どのように予防することが出来るか考え、今の子供たちの身体並びに体力の特徴について理解する。 発育発達期の特徴を理解すると共に、どの時期にどのような身体活動を行うことが理想的か、また現場で一番子供たちに接する我々がどのように導くことが出来るか多面的に考えることを目標とする。 実技では、比較底多いく発生する足関節内返し捻挫予防のテーピングを学び、実際に巻くことが出来るように練習する。</p> | | | | |
| 形態 | 講義、実技 | | | |
| テキスト | 資料配布予定 | 試験方法 | 筆記 | |
| <p>評価：</p> <p>修了認定のための筆記試験を、講習の最後に 30 分程度で実施する。</p> | | | | |
| <p>講座受講希望者への事前連絡：</p> <p>実技はテーピングを行うので、動きやすい服装で参加すること</p> | | | | |